

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	高齢者支援課長 鈴木 利枝子		
		主管課(関係課)【2】	高齢者支援課(生活福祉課)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
笑1-2 高齢者福祉の充実		安心して暮らすために	笑顔で暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	高齢者が、安心して暮らせるためには、高齢者福祉サービスや介護サービスの充実を図る必要があります。さらに、高齢者自らが行う健康づくりへの支援など、介護予防についての取組を進める必要があります。こうした取組を通じて、高齢者がいきいきと安心して暮らせるまちをめざします。		・介護予防の意識普及啓発の促進 ・高齢者福祉サービス、介護サービスの充実 ・高齢者を地域で支えるしくみづくり	高齢者が住み慣れた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちをめざします。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
◇障害者自立支援法の制定や、長寿医療制度の創設、国民健康保険制度の改正など、地域で安心して暮らしていくための福祉サービスのあり方や社会保障制度が大きく変化しています。このような状況の中、西東京市の高齢者人口は平成 22年 4月 1日現在で 39,752人、高齢化率 20.4%と上昇傾向にあり、中でも高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯共に確実に増加しています。					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	地域で高齢者を支えるしくみづくりを進めます	地域で高齢者を支えるしくみの構築		
	2	介護サービスのさらなる充実を進めます	介護予防・介護保険などの介護サービスのさらなる充実		

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標 1	名称	「介護予防・サービスなど的高齢者福祉の充実」に対する市民満足度							
		算出式・説明	今後も高齢者数の増加が見込まれる西東京市では、介護予防や自立支援を含めた幅広い高齢者福祉への取組が重要です。市民意識調査で把握します。							
		目標値	25%				単位	%		
		実績値	17.9	17.9	17.9	18.6				
		達成率	72%	72%	72%	74%				
	指標 2	名称	ささえあいネットワークの協力員の数							
		算出式・説明	今後も高齢者数の増加が見込まれる西東京市では、高齢者が安心して生活するために、地域で高齢者をささえあい、見守るしくみづくりが必要です。							
		目標値	500人				単位	人		
		実績値	360	475	642					
		達成率	72%	95%	128%	0%				
	指標 3	名称	ささえあいネットワークの訪問協力員の数							
		算出式・説明	今後も高齢者数の増加が見込まれる西東京市では、高齢者が安心して生活するために、地域で高齢者をささえあい、見守るしくみづくりが必要です。							
目標値		180人				単位	人			
	実績値	97	95	140						
	達成率	54%	53%	78%	0%					
指標 4	名称	地域包括支援センター相談・対応件数								
	算出式・説明	今後も高齢者数の増加が見込まれる西東京市では、高齢者が住み慣れた地域に密着したきめ細やかな高齢者支援サービスが必要です。本指標については、当初延べ対応件数としていましたが現在人数としての対応件数の取扱いに変更したため目標値もあわせて変更いたしました。								
	目標値	16,000件				単位	件			
	実績値	-	14717	22118						
	達成率	0%	92%	138%	0%					
達成率の平均値			50%	78%	104%	19%				

【市民意見】 【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	17.9%	満足度(%)	18.5%
満足度(平均ポイント)	-0.17	満足度(平均ポイント)	-0.17
重要度(%)	84.2%	重要度(%)	84.1%
重要度(平均ポイント)	1.43	重要度(平均ポイント)	1.46

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input type="checkbox"/> 以前と同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	Ⅱ コストは現状を維持しながら、成果を向上すべき施策領域		
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】				
なし				
【行革本部評価】				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	高齢者福祉の充実については、市内8箇所地域包括支援センターによる相談体制を充実させてきたほか、地域で高齢者を支えるしくみづくりとして「ささえあいネットワーク事業」を推進しており、協力員・訪問協力員を順調に増やしてきました。今後も引き続き高齢者の増加が見込まれ、また、市民意識調査における今後の重要度認識が相対的に高い水準にあることから、中長期的に施策の拡充を図っていく必要がありますが、引き続き「ささえあいネットワーク事業」を推進することで効果が得られるものと考え、現状の計画ベースを維持することと判断しました。		
	施策実施方針【22】	V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

笑1-2 高齢者福祉の充実

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	ささえあいネットワーク事業の実施	高齢者支援課	一人暮らし高齢者及び高齢者のみで構成されている世帯などが地域の中で互いに支え合いながら安心して生活していかれるよう、高齢者が具合が悪くなったとき等の早期発見、連絡、緊急対応などをできるようネットワークを構築・活用することにより、高齢者の緊急事態に対応することを目的とした事業です。 高齢者が安全に生活できているか、外からさりげなく見守る協力員と自宅を訪問して玄関で話しをうかがったり、街で会ったときに声かけをして、安否の確認を行う訪問協力員のサービスを実施しています。
2	介護予防事業	高齢者支援課	(介護保険特別会計で実施) 健康的な生活習慣を築いて、生涯を自立して過ごすことで、いつまでも住み慣れたまち・家に住み続けるために、高齢者の方の介護予防の講座や各種事業を実施しています。
	地域包括支援センター等事業	高齢者支援課	概ね65歳以上の高齢者を対象として、要介護状態にならないよう介護予防支援、地域での介護保険内外の総合相談、虐待の早期発見等の権利擁護対応を地域包括支援センター(市内8箇所)を中心に在宅介護支援センターと連携しながら実施し、高齢者の福祉の向上を図ることを目的としています。 総合計画事業としては、一般会計の在宅介護支援等事業費について計上しています。
	地域密着型サービス等重点施設の整備	高齢者支援課	第4期介護保険事業計画において、要介護者、要支援者の住み慣れた地域での生活を24時間体制で支えるという観点から地域密着型サービスの拠点整備に対し、その事業に要する経費の一部補助を実施しています。 市では生活圏ごとに4つの類型(認知症高齢者グループホーム、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、小規模介護老人福祉施設)に加え、夜間対応型訪問介護の基盤整備を目指すこととなっています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事業費		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費				
0	0	0	-	-	地域で高齢者を支える拠点整備を図ることができます。	B
4,684	2,987	1,697	改善・見直し (平成19年度)	中	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が安心して生活できるような、地域で高齢者を支えるしくみとなっています。	A
0	0	0	-	-	介護予防を進めて、高齢者が安心して自立して暮らせることができるようになります。	A
87,230	79,958	7,272	改善・見直し (平成19年度)	上	市内8箇所の地域包括支援センターを拠点に介護サービスの充実が図られています。	A
176,890	161,250	15,640	改善・見直し (平成19年度)	中	地域密着型サービスの整備を行い、円滑なサービス提供ができます。	A
268,804	244,195	24,609				